

「1チョコ for 1スマイル」における協働事例

活動紹介@サステイナブル・カカオ・プラットフォーム

2020年2月5日(水)

(公財) プラン・インターナショナル・ジャパン

広報・マーケティング部 番場慎也



～「1チョコ for 1スマイル」における連携～

- ・2008年より継続中（2003年から連携）



- ・これまで主に途上国における66校 約12,000人の子どもたちの教育環境を改善

（カメルーン、ガーナ、エクアドル、インドネシアなど）

- ・2020キャンペーン期間中

1月15日～2月14日まで！



現在のプロジェクト

- ・タイトル：教育環境改善プロジェクト
- ・期間：2019年6月～2020年5月
- ・プロジェクト対象地：東部州カディ県バトゥーリ地区
- ・対象：地区の小学校に通う児童405人
教師3人、PTAメンバー



背景と目的

背景

- 小学校の**教室**の数が少ない。
- 学校内の**設備**（教具、トイレ、水など）が整っていない。
- 子どもたちの**教育へのアクセス**が限られている。
 - 特に**女の子の就学が低く、退学**も多い。
 - 15～24歳の識字率：男の子79%、女の子63%

目的

- 安全に学べる**環境を整備**する。
- **ジェンダー**に関係なく子どもたちに**質の高い教育**を確保する。

主な活動

- **教室**の建設、備品支給（机いす、戸棚など）
- **男女別トイレ、井戸**の建設
- **女子教育**の重要性の**意識啓発**
- 教師への生徒を尊重する**指導法**トレーニング



期待されるインパクト (1)

- **安心して学校**に行ける (男女別トイレ、井戸)
- **安心して学べる** (教室、教員トレーニング)
- 親からの**励まし** (啓発)



期待されるインパクト (2)

- 女の子の**就学**が増える
- 女の子の**中途退学**が減る



そして、女の子が**エンパワー**される！



期待されるインパクト (3)



家族、地域の貧困が減る可能性！

まとめ:SDGs 2030年に向けた取り組み

- **「取り残された人々」**へリーチすることが喫緊の課題
- すべての人が**「尊厳ある生き方」**ができることが世界の目標「何人も差別されない」=>**「生存、公平、自己決定」**
- 社会的役割分担は、長い時間の中で作られたもの=>**変わりうる、不変ではない**
- その**「一歩を踏み出すこと**、そして地域のリズムを尊重した**「息の長い取り組み」**が大事



**Girls' education is the key
to breaking the cycle of
poverty**